

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【公開番号】特開 2016-4220 (P2016-4220A)

【公開日】平成 28 年 1 月 12 日 (2016.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2016-002

【出願番号】特願 2014-125920 (P2014-125920)

【国際特許分類】

G 1 0 H 1/36 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/36

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 16 日 (2017.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別する第 1 和音判別手段と、前記第 1 和音判別手段により和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 1 伴奏音生成指示手段と、

前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより新たな和音を構成しているか否かを判別する第 2 和音判別手段と、

前記第 2 和音判別手段により新たな和音を構成していると判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 2 伴奏音生成指示手段と、

前記第 2 和音判別手段により新たな和音を構成していないと判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させる伴奏制御手段と、

を有する自動伴奏装置。

【請求項 2】

前記伴奏制御手段は、前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させている際に、前記第 1 音高及び前記第 2 音高の指定が解除されたとしても、前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させる、請求項 1 に記載の自動伴奏装置。

【請求項 3】

指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別する第 1 和音判別手段と、前記第 1 和音判別手段により和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 1 伴奏音生成指示手段と、

前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 2 伴奏音生成指示手段と、

を有する自動伴奏装置。

【請求項 4】

前記第 2 伴奏音生成指示手段は、前記第 2 音高が新たに指定されることにより、新たな和音を構成していないと判断した場合に、前記第 1 伴奏パターンと異なる前記第 2 伴奏パ

ターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する、請求項 3 に記載の自動伴奏装置。

【請求項 5】

前記第 1 音高及び前記第 2 音高が指定されている際に前記第 2 音高の指定のみ解除された場合に、前記第 2 伴奏パターンの代わりに前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 3 伴奏音生成指示手段と、

前記第 1 音高及び前記第 2 音高が指定されている際に前記第 1 音高及び前記第 2 音高の指定が解除された場合に、前記第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させる伴奏制御手段と、

を有する請求項 3 に記載の自動伴奏装置。

【請求項 6】

前記伴奏制御手段は、前記第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させた後に前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する、請求項 5 に記載の自動伴奏装置。

【請求項 7】

自動伴奏装置が、

指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別し、

前記和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示し、

前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより新たな和音を構成しているか否かを判別し、

前記新たな和音を構成していると判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示し、

前記新たな和音を構成していないと判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させる、自動伴奏方法。

【請求項 8】

自動伴奏装置が、

指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別し、

前記和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示し、

前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する、自動伴奏方法。

【請求項 9】

指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別するステップと、

前記和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示するステップと、

前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより新たな和音を構成しているか否かを判別するステップと、

前記新たな和音を構成していると判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示するステップと、

前記新たな和音を構成していないと判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させるステップと、

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 10】

指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別するステップと、

前記和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示するステップと、

前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示するステップと、

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 11】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の自動伴奏装置と、

前記音高を指定可能な複数の演奏操作子と、

前記複数の演奏操作子のいずれかの操作子により指定された音高に基づく楽音の生成を前記音源に指示する楽音生成指示手段と、

を有する電子楽器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明は、簡単な操作で出力される伴奏パターンを変更することを可能とすることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題を解決するために、本発明の一実施態様である自動伴奏装置は、指定された複数の第 1 音高が和音を構成しているか否かを判別する第 1 和音判別手段と、前記第 1 和音判別手段により和音を構成していると判別された場合、当該和音の形態に基づいて第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 1 伴奏音生成指示手段と、前記第 1 音高が指定されている際に前記第 1 音高と異なる第 2 音高が新たに指定されることにより新たな和音を構成しているか否かを判別する第 2 和音判別手段と、前記第 2 和音判別手段により新たな和音を構成していると判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンと異なる第 2 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に指示する第 2 伴奏音生成指示手段と、前記第 2 和音判別手段により新たな和音を構成していないと判別された場合に、前記第 1 伴奏パターンに応じた伴奏音の生成を音源に継続させる伴奏制御手段と、を有することを特徴とする。

その他の手段は、後記する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、簡単な操作で出力される伴奏パターンを変更することができる。